

第 64 回国民体育大会 柔道競技 結果報告書

競技力向上委員会 委員長 森 義昭

天皇陛下御在位 20 年記念第 64 回国民体育大会 トキめき新潟国体柔道競技は、“トキはなて君の力を大会へ”のスローガンの下、10 月 3 日（土）～10 月 5 日（月）までの 3 日間、新潟市豊栄総合体育館に於て盛大に行われました。

東京都は昨年まで総合優勝 4 連覇を成し遂げており、今年は 5 連覇の偉業を達成すべく、成年女子・少年男女の 3 部門とし 8 月の関東ブロック大会を見事通過し、成年男子と共に本大会に臨みました。初日の少年男子は、エントリーしていた選手が 2 人がインフルエンザに罹り、大会直前に代わりの選手が出場することになりました。今年のメンバーは昨年のようなポイントゲッターはいないが、逆に粘り強さのある選手で有りました。

初戦の愛媛県戦こそ 1 対 0 と苦戦しましたがその後は順調に勝ち上がり、昨年同様神奈川県との決勝戦となりました。よく健闘しましたが善戦虚しく 1 対 2 で破れ、2 位となりました。少年女子は初戦で北海道と対戦し、0 対 1 で惜敗しました。成年女子は初戦の京都府に 1 対 0 で勝ち、準々決勝戦にもつれこみ、惜しくも敗退。新潟県はその後、決勝戦まで進み、富山県を破り見事優勝しました。東京都は非常に残念な結果でありましたが、女子は少年・成年共に今後課題を残しました。

最後を飾る成年男子であるが、今年は中堅の西山選手以外、昨年とメンバーを全て入れ替え、新しい布陣で臨みました。初戦の滋賀県には 5 対 0、続く静岡県・香川県にも失点無く、準決勝戦となった福岡県に 3 対 0 と圧勝し、順当に決勝戦に駒を進めました。決勝戦は地元新潟県との対戦でありましたが東京都チームに隙は無く、3 対 0 の完勝でありました。その結果 9 2. 5 点となり 1 位の新潟県の 9 4 点に僅か 1. 5 点及ばず、総合 2 位という結果に終わりました。選手たちは良く頑張ったが、この結果を真摯に受け止め、次年度に生かしてゆきたいと思いました。

最後になりましたが、皆様方の応援に心から感謝申し上げ、大会の結果報告とさせていただきます。

成年男子優勝・一人も負けなしで優勝は素晴らしい記録になるだろう



成年女子・新潟に惜敗し、残念



少年男子・神奈川県に僅差で負け、優勝を逃す



少年女子、は初戦敗退、僅差で有るが今後の課題

